

清友

No. 81

2016年5月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



皇居東御苑
二の丸庭園のシラン

憲法集会

明日を決めるのは 私たち～ 平和と いのちと人権を！



デモに出発する自治労東京の仲間たち

平和運動団体の統一行動として横浜で開催された昨年の集会に引き続き、今年も、「憲法集会」が5月3日に有明防災公園で開かれ、改憲を公言し人権を敵視している安倍政権の暴走に歯止めをかけようと、5万人が参加、「憲法改悪NO!」「安倍政権NO!」等と声を上げました。

「戦争法に反対する市民の行動が政治を大きく動かしている。市民と野党が連携すれば、必ず安倍政権の策動を打ち破ることができる。」という開会あいさつに続き、山口二郎法政大学教授は「野党と市民がまとまれば選挙に勝てる。」

参院選に向け大きなうねりを起こそう。」と呼びかけ、従軍記者を経験した101歳のジャーナリストむのたけじさんは「憲法9条があるから、戦後70年間、他国の人も自国の人も一人も戦死させることはなかった。この道は間違っていない。」と、力を込めて訴えました。

そして、野党4党（民進党・共産党・社民党・生活の党）の党首が一緒に登壇し、「憲法改正は認められない、夏の参議院選挙に向けて対決する。」ことを強調しました。

集会の中で、「戦争法廃止を求める統一署名」が4月末の第一次集約で1200万筆を超えたことが報告されました。

集会後、2コースに分かれてデモが行われ、「憲法を守れ!」「改憲を許すな!」などとシュプレヒコールをあげました。退職者会は14名参加し、最後まで行動を貫徹しました。

すっからりにわか盆栽通に

盆栽と花を楽しんだお花見ウオーケ

今年のお花見ウオーケは、大宮の盆栽村と大宮公園散策。

4月12日、東武野田線「大宮公園」駅に集合し、丹誠込めた家々の庭をながめながら盆栽美術館へ。途中、風刺画を確立し近代漫画の父といわれる北沢楽天ゆかりの「さいたま市立漫画会館」に寄り道。

盆栽美術館は、盆栽の構成要素や歴史等の説明コーナーがあり、数百年物も展示され、詳しい説明付きなので、素人



盆栽美術館屋外展示場



大宮公園桜園地

でも充分楽しめました。盆栽美術館を出た一行は、往きではのぞき見だけだった盆栽園に堂々と入り、説明を聞いたりして、すっからり盆栽通気分。昼食は大宮公園でのんびり。染井吉野は葉桜、八重桜はまだ少し早い端境期でしたが、天気にも恵まれて、咲き誇る様々な花を楽しみました。「春はいいねえ。」と思わず漏れた参加者のひと言が、今回の感想のすべてを現していました。

第5回幹事会

秋の旅行会実施案は6月に決める予定

4月22日第5回幹事会と合同専門部会

を開き、①第9回定期総会準備と総会議案、②秋の旅行会の構想などを確認しました。

第9回定期総会

ご案内のとおり5月27日に開催(総会後に懇親会)します。総会議案は会員の皆様宅へ送付しますので、検討してください。総会出欠連絡がまだの方は、至急連絡ください。不参加の方は委任状(返信用ハ

ガキに記載)をお願いします。

秋の旅行会検討

今年の旅行会について業者の提案内容を検討しましたが、結論は出ませんでした。バス料金やホテル代が高騰しているため、少し足を伸ばすと料金設定が高くなってしまいうからです。料金面と移動時間を考慮し、「近場でゆっくり」の考え方も視野に再検討します。6月までには実施案を確定させます。



訃報

前会計宮 三郎さん逝去

退職者会前会計の宮三郎さんが5月5日に亡くなりました。

温厚な人柄で誰からも信頼され、笑顔がすてきだった宮さんは、葛飾東支部執行委員長、旧作業協事務局長、東京清掃本部会計監査などを歴任。退職後は退職者会の再建

に尽力され、再建総会で会計に就任しましたが、病魔に侵され、その後は闘病生活を余儀なくされていきました。

最近、体調がすぐれない様子を伺い心配していましたが、残念なことに訃報が届きました。享年75歳。謹んで故人のご冥福を祈ります。

昭和運輸不当解雇撤回闘争

偽装労供の実態は明白 あくまでも現職復帰を

昭和運輸による3名の「労働者供給事業労働者」に対する不当解雇撤回にむけての裁判における山場である第1回、第2回口頭弁論が4月18日と25日の両日、東京地裁で行われ、約70名が傍聴しました。

第1回の被告尋問では、フレッシュユニオン（労供事業実施労組）須賀氏が原告ら3名に会社業務部長の名刺を渡し、昭和運輸に採用したこと、徴収した組合費は領収書なしで、組合規約にも明示なし等、偽装労働者供給事業の実態が明らかにされました。

野中昭和運輸社長は、「非解雇者等7名が『正社員として処遇するつもりがあるのか』と問いかけた話し合いに応じておきながら、そのことが労働協約に違反するとして、原告ら3名を解雇したのか」との原告側弁護士の追求に、「私は労働協約違反と言った記憶

はない」と、あまいな答弁をしました。第2回の原告側尋問では、被解雇者3名各自に対して被告側弁護士は、「髭、腰痛体操のサボタージユ、アルコール検知と誤積み、事故」等が解雇理由だと追及しましたが、「こうした理由で解雇される理由はない」と、原告ら3名は反論し、その上で、「昭和運輸が、自治労にシンパシーをもち権利を主張した自分たちを憎悪し、職場から排除するために解雇が行われた。職場に復帰してぜひ働きたい。」と自分達の思いを訴えました。

は、

第2回の原告側尋問では、

被解雇者3名各自に対して被告側弁護士は、「髭、腰痛体操のサボタージユ、アルコール検知と誤積み、事故」等が解雇理由だと追及しましたが、「こうした理由で解雇される理由はない」と、原告ら3名は反論し、その上で、「昭和運輸が、自治労にシンパシーをもち権利を主張した自分たちを憎悪し、職場から排除するために解雇が行われた。職場に復帰してぜひ働きたい。」と自分達の思いを訴えました。

今後の裁判日程は未確定ですが、現職復帰を求める原告の闘いを支援し抜こうと思えます。



宮本恒雄
共闘会議議長



毎月19日に、「戦争法廃止・安倍政権の暴走を許さない国会前集会」がもたれていきます。4月19日は、冷たい風の中7500人が結集。山口二郎法大教授は、熊本・大分地震に絡めて緊急事態条項を設ける改憲の動きに「震災対策は緊急事態条項とは無関係。火事場泥棒的発想だ」と批判。八王子の金刀比羅神社宮司奥田さんは「敗戦したとき日本の宗教者は懺悔したはず。」と悪法を葬り去るための祝詞を読み上げました。各方面の多様な取組みを象徴するものでした。

退職者会活動日誌

＊3月8日の第9回三役会から4月22日の第5回幹事会まで
▼3月17日、演芸を楽しむ会（国立演芸場3月中席）に14名参加。▼3月22日、清掃会館で第1回役員選挙委員会。▼3月30日、都庁で都庁退学学習集会。電力自由化について学ぶ。9名参加。▼4月8日、清掃会館で第2回役員選挙委員会。▼4月11日、都庁で都庁退役員会。庄司事務局長と岩渕会計監査が参加。都共済との話し合いや親睦交流会企画案を検討。▼4月12日、大宮益
裁村、大宮公園をめぐるお花見ウォーキング。▼4月15日、清掃会館で岩渕監査、山岸監査により年次会計監査。▼4月15日、自治労都本部で自治退都本部幹事会。柳副会長と庄司事務局長が参加。都本部学習会や中央メンバーの取組みを検討。▼4月22日、清掃会館で第10回三役会。同日、第5回幹事会と合同専門部会。▼各種集会・行動を7件取組み、56名参加。▼事務局会議・事務業務は6回。行事企画、役員選挙委員会・幹事会等機関運営準備、機関紙・定例連絡等送付など。



日比谷 メーデー



5月1日、五月晴れのなか、約8千名が集結して日比谷メーデーが開催されました。

集会スローガンは、①労働法制改悪反対！一日8時間労働制の破壊を許すな！②原発の再稼働糾弾！全て廃炉へ！③戦争法廃止！辺野古新基地建設阻止！憲法改悪を許さない！。現場からのアピールでは、非正規差別との闘い、外国人使い捨て反対の闘い、全員解雇と闘う争議の報告と、5・3憲法集会への大結集の呼びかけがありました。

退職者会は、20名参加し、東京清掃本部・青年部と同じ梯队で、退職者会旗を掲げて鍛冶橋まで元気に行進しました。

中央 メーデー



4月29日に開催された中央メーデーで、神津連合会長は、非正規の増加により格差・貧困が拡大している現状に危機感を示した上で、「暮らしの底上げにより、働く者の将来への希望を確かなものにするべく、発信・行動していくことが重要」と訴えました。しかし、原発再稼働や沖繩の辺野古新基地にはふれませんでした。

